

新規：2014. 4. 22

更新：

科目名	使徒行伝		
科目コード	BNT202		【必須】
教員名	小泉智		
連絡方法			
単位数	2単位	時間数	26時間
開講期	—	授業の方法	講義

### 1. 授業のねらい

本コースは日本語による釈義コースである。ペンテコステ教会にとって重要な使徒行伝をテキストとしながら、神学的諸課題を諸テーマに即して釈義的、神学的に取り扱っていきたい。

1. 使徒行伝の緒論的問題を理解すること。
2. ギリシャ語による釈義の準備作業となる日本語による使徒行伝の釈義が出来ること。
3. 使徒行伝を読解する上で必要となる基礎的作業の習熟を目指すこと。
4. 教会の現場で対応出来る説教を使徒行伝から出来るようになること。

### 2. 授業内容とスケジュール

1. 毎時間一章

### 3. 評価の方法（評価の割合）

1. 視聴（50%）
2. 課題（50%）
  - A) 使徒行伝通読（口語訳、新改訳、新共同訳一回ずつ）（5%）
  - B) 毎回、授業の前に映し出される三択の小テストに答えること。範囲は前回の授業の確認。2回目以降から計27回実施される。（15%）
  - C) 使徒行伝をテキストとした説教を3つ作る。（15%）  
（7章44節—53節、11章16節—30節、16章25節—40節）
  - D) フェイスブック上に講師が立ち上げる3つのスレッドに参加する事。内容は授業内容から。レスの期間は定めないが、ひとつのスレッドにつき、ひとり3回以上のレスを必要とする。授業の質問もここで受け付ける。（15%）

## 4. テキスト

---

1. 「使徒行伝と原始キリスト教史」M・ヘンゲル著、新免貢訳（教文館,1994年）  
（通信科の場合も出来れば読むことを勧めるが、探しても見つからない時は必ずしも読む必要はない。）

## 5. 参考図書

---

なし

## 6. その他（注意事項など）

---

なし

以上